

京都モダン建築祭で本に触れる～図書館と書店で同時ブックフェア～

基本データ
(数値は令和5年現在)

京都府立図書館 URL: <https://www.library.pref.kyoto.jp/>

テーマ

図書館と書店等が連携して行う特色ある読書活動・行事

取組概要

京都の様々なモダン建築を見て歩く「京都モダン建築祭」。イベントをより楽しんでもらうために、図書館と書店が建築本フェアを同時開催。

取組詳細

京都モダン建築祭とは？

京都はもちろん全国からの参加申込者が、京都の多くのモダン建築を11月に散策して体感する、新しい京都の風物詩(令和4年から毎年開催、京都市等後援、文化庁補助)。京都府立図書館も通常非公開部を公開。

なぜ「京都府立図書館×丸善京都本店」？

時代を問わず建築様式や建築にまつわるあれこれが、見る人の知的興味をかきたてる。建築本を読みたくなる時である。そこで、「京都府立図書館×丸善京都本店 京都モダン建築祭セレクトフェア」を双方で同時開催し、互いのフェアを紹介。ともに明治時代に設立され、近代建築が広がる時代を生きてきた歴史背景もあり、京都モダン建築祭に協調。

ブックフェアのコンテンツは？

本を売る立場の書店と重複を避け、京都府立図書館は電子書籍の建築本、建築DVD、建築関連雑誌をリスト化。また、京都モダン建築祭実行委員会が編集したブックリストの本(新刊本ではない)を展示。丸善では京都府立図書館のリストを配布。

京都府立図書館でのフェア



丸善京都本店でのフェア
(写真中央に府立図書館のリスト)



取組の成果と今後

丸善京都本店から、フェアの本の売れ行きが伸びたとの連絡あり。図書館のリストを持ち帰る客も多かった模様。

京都府立図書館も京都モダン建築祭期間中、普段の来館者とは異なる層が通常非公開部を見学に訪れ(令和4年は約1400人、令和5年は約1000人)、認知度が向上。

今後も図書館と書店それぞれの特色を打ち出しながら、まちのイベントと協働したい。